

校長室だより

第4号

柏原市立堅下北中学校
校長 石田 智
令和4年7月1日（金）発行

○2年生校外学習

6月10日（金）、2年生が大阪市内に校外学習に行ってきました。今年度は新たな訪問先として、報道機関であるNHKをはじめ、読売新聞、朝日新聞、テレビ大阪を訪れました。

今回の校外学習の目的は、来年の長崎での修学旅行にむけて、班で協力して各チェックポイントをまわり、その過程で仲間としての絆を深めることにありました。長崎のフィールドワーク以上に広い範囲を、自分たちで電車を乗り継ぎ、4カ所ほどのチェックポイントをまわるのは、かなり難易度の高いものだったと思いますが、途中で電車を乗り間違えたり、道に迷ったりしながらも、ほとんどの班が予定どおりの見学を終え、無事柏原に戻ってくることができました。出発時はちょうど通勤時間ということもあり、電車内はかなり混んでいたのですが、乗車中は周囲の人の迷惑にならないようにカバンを前で持ち、無駄話をせず静かに過ごすなど、マナーも良かったと思います。また、見学先では熱心にメモをとるなど、学習に生かそうという姿勢も見られました。目的どおり来年の修学旅行につながる成果が感じられた校外学習でした。



○水泳授業が始まりました

新型コロナウイルス感染症の影響で実施できずにいた水泳授業が、6月21日（火）から3年ぶりに再開しました。3年ぶりということで、どの学年の生徒にとっても、中学校生活で初めての水泳授業となります。

初日の21日は、曇り空で時々雨も降るような天気でしたので、生徒たちは寒そうにしていたのですが、翌日以降は晴天で気温も暑いぐらいに上昇し、絶好のプール日和となりました。「水を得た魚のよ

う」ということわざのように、生徒たちはひさしぶりのプールでの授業を大いに喜び、生き生きと取り組んでいます。

今後1学期末までは、体育の授業は水泳が中心になります。



○給食の残食について

前回に引き続き、給食について書きます。先日給食センターの方から伺ったのですが、柏原市と藤井寺市の学校における給食の残食は全国平均の7%を上回りおよそ10%あるとのこと。私は毎日配膳室に行って様子を見ているのですが、確かにパン食の時に食べ残しが多すぎて備え付けのごみ箱の中に入りきらないことや、牛乳が大量に返却されて山積みされていることがあります。給食というのは生徒のみなさんが成長するのに必要な栄養を摂取できるよう栄養士さんによる緻密な計算の下で作られています。よって、給食をしっかり食べることは健康で丈夫な身体をつくることにつながります。猛暑によりどうしても食欲は落ち気味になりますが、食べないと余計に夏バテを助長することになります。また残食が出れば、それを焼却することにより二酸化炭素が発生し、地球温暖化の一因となっているとも言われています。自身の健康、そして地球環境のためにも、給食はできるだけ残さず食べるようにし、ご家庭におきましても「食品ロス」の軽減にご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

○「見ること」「見えること」

先日の集会で、セアカコケグモについて注意喚起させていただきました。生徒のみなさんは校舎内4カ所に掲示したリーフレットを見てくれたでしょうか。人間の目は目に入っているものの中から自分が見ようと意識したもののみを認識すると言われていています。つまり、見ようと意識していないと、例えそれが目の前にあってもその存在に気付かないこともあるということです。私はリーフレットを全学年の生徒が必ず目に付くところに掲示しました。だから、一度場所を少し変えただけで気付いてくれた人もいたということは先日お話ししておりました。これからの時期、セアカコケグモの活動が活発になります。毒性の強いクモということで、生徒のみなさんにはその特徴や対処法などをよく理解しておいてほしいと思います。まだリーフレットを見ていない人は、意識して校舎内を探してみてください。「こんなところにあったのか」というような、いつも目にする場所に掲示していますので。